

幼児文化芸術

「氏名の国際化」

話題としましては少し遅くなりましたが、オリンピック・パラリンピックの放送やその後の国際大会の放送をご覧になって、日本の選手名の表示で以前と変更された点がありますが何だかお分かりになりますか。

実は、アルファベット表記における、姓と名の順序です。従来、日本人の姓名表記は、山田太郎は「Taro YAMADA」と、わざわざ順序を変えて欧米式に名↓姓と表記していました。同じ姓↓名の順序の文化を持つ韓国や中国では、（私が気づく範囲では）アルファベット表記するときに、一部欧米式に名↓姓でされることはありますが、大部分は姓↓名の順序です。

また、姓↓名の表記はアジア独特のことでは無いようで、ハンガリーでも姓↓名の順序で表記するのが正式だそうです。なぜ、日本だけ順序を入れ替えるのでしょうか、以前から不思議でありませんでした。

この機会に調べてみますと、明治時代の欧米式を取り入れることから始まった様で、明治時代のその不思議な名残がやつと二年前から公文書のアルファベット表記でも、姓↓名の順序で表記することになったそうです。

国際化とは何を指すのか、今一度考えてみることも必要かもしれません。

とみよし幼稚園 園長 原田 大栄

2021年12月吉日
第25号



一般財団法人
幼児文化芸術協会

志だみ幼稚園

いただき方を体験しよう!

十一月四日は、本園の『わくわくタイム』の日。年長組さんだけが今回は、抹茶体験をしました。本年度、すでに六月には「アルパ」・七月には「日本舞踊」を楽しんできています。

いつもの講堂とは雰囲気の違い、子どもたちもその空気を察して神秘的な面持ちで入っていました。今日の課内プログラムに限らず「幼児文化芸術体験」として、技や技術の習得ではなく五感を通して肌で感じて欲しいとの願いで毎回進めています。

この時期の子どもたちには何かを覚えたりするよりも心で感じ取れる体験をたくさんさせてあげたいと思っています。今回の抹茶も子どもにとっては抵抗のある味であったかもしれませんが、「飲めた・飲めなかつた」ではなく、「茶道」の世界をちよっぴり覗けたことこそが重要だと思っています。

講堂に入ってくる前も教室で「静かにしなさい」とか「じっとしていなさい」などとは言いませぬ。「年長組さんだからこそ特別なことが講堂であるよ」と期待感・ワクワク感を膨らませてからやってきます。だからこそ、空気感の違いも自分で察してどのように振舞うべきか自分で考え行動していました。



会員園 トピックス

小幡あさひ幼稚園

フラダンス体験

九月下旬にフラダンスの体験を学年毎に行いました。講師は県内で指導者として活躍していらっしゃる千田初子先生と、アシスタントの鳴海葉子先生です。

まずは早速デモンストラーションです。ハワイアンミュージックに合わせてのやわらかな動きに、どの学年もじつと見入っていました。

その次に世界地図を見ながら「ハワイはどこでしょう?」とクイズを出したり、風景の写真を見せたりしてイメージを膨らませ、いよいよ体験が始まりました。

手の動きから「これは何でしょう?」とここでもクイズ形式に進み、「花」「風」など初歩的な動きをひとつずつ丁寧に教わりました。子どもたちは皆楽しそうに取り組んでいて、最後にそれぞれ表現をつなげて足の動きも加え、皆で曲の一部を踊れるようにもなりました。

あっという間に終わりの時間になり、子どもたちからは「もっとやりたかったな〜」などの声がかれましたが、活動への意欲を育むには少し名残惜しいくらいが良いので、はとと思っております。



会員園ご紹介

- 栄光八事幼稚園 (天白区)
- 小幡あさひ幼稚園 (守山区)
- 志だみ幼稚園 (守山区)
- とみよし幼稚園 (愛西市)
- 名古屋西幼稚園 (西区)
- 鳴海ヶ丘幼稚園 (緑区)
- 美里幼稚園 (豊田市)

※50音順



Information

第9回 幼児文化芸術祭 限定配信

今年度も引き続きビデオ収録による発表を行います。

通常行われる合唱『希望の歌〜交響曲第九番〜』と『親子舞踏会』の他、各園の様々な文化芸術体験プログラムの様子が収録されます。(3月配信予定)



クリスマスコンサート 限定配信 〜サンタさんからのプレゼント〜

ご家庭にて親子で楽しめるコンサートの動画配信をしました。

